

図-1 整備方向に関する因子得点の回答者属性別平均

も興味深い。

5. 住環境の不満感と整備意向との関連分析

住環境評価および整備意向に関する各因子について、サンプルごとの因子得点を用いて、クラスター分析を行ない、サンプルを、各因子に対応する、住環境不満グループと整備意向グループに分類した。そして両者の関連をみることで、住民が住環境に対する不満を解消する方策として、どのような整備を望んでいるのかを分析する。図-2に、それぞれのグループに属するサンプルの割合を示す。また、図-3は、住環境不満グループと整備意向グループとの関連である。これによると、施設・アメニティの不満群は、良好住宅、安全・憩い重視の整備を望んでおり、道路環境の不満群は、駐車場整備、道路拡張を望むといった妥当な結果が得られたが、周辺交通環境に不満を持つ人は、道路自体に不満を抱いているのではなく、周辺の住宅事情に不満を抱いている点が非常に興味深い点である。

6. おわりに 今後は、住民が望む整備の方向をより明らかにするとともに、住民意識をふまえた具体的な密集市街地の整備のあり方について、その実現可能性とともに研究を進めていきたい。

表-3 整備方向に対する選好因子パターン

	第1軸	第2軸	第3軸	第4軸	第5軸	第6軸	第7軸	第8軸
住環境評価								
住環境不満								
整備意向								
住環境不満グループ								
整備意向グループ								
因子の解釈								
全面改造								
良好住宅								
駐車場整備								
住宅高度利用								
路上駐車排除								
道路拡張								
安全・憩い重視								
積極的保全								

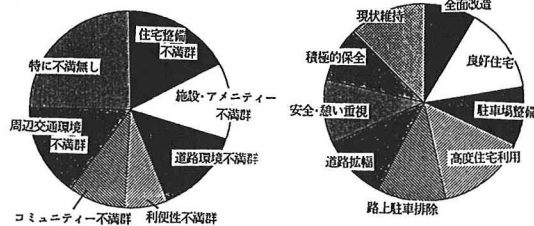


図-2 住環境不満グループ、整備意向グループの構成比

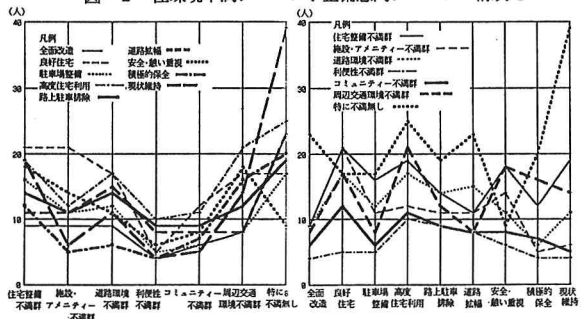


図-3 住環境不満グループと整備意向グループの関連